



オフィシャル
WEB
QRコード

新しいステージへ
発展していく堺

堺市議会議員

まとはば 慎一



新年明けましておめでとございます。

早いもので皆様の御支援により議会に御送り頂いてから3ヶ月以上が過ぎました。所属委員会も決まり、初の本会議を終えてようやく1年半の任期を歩み始めました。

市民の皆様のご信頼と付託を頂く市議会議員という者は今必要な事と将来のために今すべき事を意識して住民の皆様の声や想いをしっかりと行政に反映させなければなりません。また様々な情報もお伝えし、地域の発展に尽力していくべきと頑張っております。そして、納税納得度を高めていくために邁進いたします。今度とも真摯に取り組んでまいりますので変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

大阪維新の会 堺市議会議員(南区) 的場 慎一

泉北高速鉄道はどうか?!

	ローンスター	南海電鉄
通学定期	12.5%値下げ	25%値下げ
通勤定期	なし	なし
65歳以上	全区間160円回数券	なし
乗り継ぎ運賃	10円値下げ	80円値下げ
株売却金額	781億円	720億円

昨年12月大阪府議会にて大阪府都市開発(OTK)株式売却議案が否決されました。ローンスター社は他に駅中子育て支援施設、商業施設の誘致、パンジョの活性化案、夜間輸送サービス増強の協議を提案していました。松井知事はじめ大阪府は泉北ニュータウンの再生、「泉ヶ丘駅前地域活性ビジョン」を基本として10年間を取り組み期間としてスタートしています。今後、OTK社の株式を売却していくにあたり、沿線住民が求める乗り継ぎ運賃値下げもですが、駅周辺の再開発などの提案もしっかりと求めていくことが必要だと考えます。また、売却益についても府が北部重視というイメージばかり先行していますが、門真で止まっているモノレールを堺から関空まで延伸することも考えています。私は沿線地元の堺市としてまず、通学定期の補助を先行して行うべきと訴えてまいります。地元自治体が先行して行動することが今後影響力を持つことになると思います。

まとはば 慎一の政策・想い



< 主な政策について >

- ・ 中学校給食の実現
- ・ 泉北高速鉄道の通学定期の補助
- ・ 主体的なニュータウン活性の取り組み
- ・ 若者に雇用を
- ・ 画一的な教育改革から脱却する堺
- ・ 農業の活性化
- ・ 理にかなった街づくり
- ・ 細やかな誘致事業



私はワン大阪に堺も参加し、大阪が動き出し、大阪都構想は構想から計画へと熱い議論、交渉が始まり、連日のように新しいニュースが堺から発信される、それを信じていました。今でもその想いは変わりませんが、現状は難しい状況です。しかし、今の状況が難しくとも、堺市のポテンシャルを少しでも上げていきたい、強い堺を実現してこそ住民サービスを高めることができます。

新しい先進的な取り組みを実践する都市として、挑戦していかなくてはなりません。

駅でお配りさせていただく「MATOBA JOURNAL」ポケット版と合わせてこの「まとはば JOURNAL」で順次項目についての想いをお伝えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

11月定例会委員会質疑 市民人権委員会



昨年12月議会での委員会質疑(市民人権委員会)にて区民ポード(区民評議会)について質疑を致しました。区に権限財源を移していくという都市内分権を目指すものとし

て区民の想いを市政に反映させるためと位置づけられている区民評議会の詳細について質疑致しました。竹山市長には、本間に本気で住民に近い行政を目指し、区を強化して権限を委譲するには区長も公約をもって選挙などで市民からの付託が必要と訴えました。また、身近な行政は区長に任せ、市長は市全体のことを行い、加えて堺市が政令市として近隣地域に影響を与える存在になつていくために尽力すべきと述べさせて頂きました。

区民評議会とは?

それぞれの区の住民からメンバーを選任して成る評議会。その評議会から施策や要望を市政に提言するもので、区で出来ることは区で行い、それ以上の事については局にて対応するといったもの。まちづくり事業の様なソフト面だけでなく、道路や公園などのハード面でも要望が出来る。来年度に制度設計を行い、平成27年度にモデル区でスタートを目指すといったもの。メンバー構成、人数など詳細については現在検討中。

議会の模様は堺市のホームページにて動画配信されています。

<http://www.city.sakai.lg.jp/shigikai/>

所属委員会：市民人権委員会・次世代育成支援調査特別委員会

まとは慎一の想い 中学校給食の実現

財源や方式など幅広い議論が必要ですが、その前に中学校給食をやるというスタートラインに立つのか立たないのかを明確にすることが大切です。

出来ない議論を積み上げて方向性を決めていては何事も成しえません。
出来る議論を積み上げて可能性を追求することが大切です。

中学校給食はサポートという観点からの議論だけではなく、義務教育に必要な教育の一つと私は考えています。

義務教育とは社会がこれから子どもたちにしっかりと教育を受けさせるという、「義務」その義務教育です。

その教育の中には、学力、成長期である身体育成、文化芸術に対する造詣など様々な事が含まれていますが、中でも集団生活・集団行動・協調性の育成が重要です。

「同じ釜の飯を食う」という言葉もあります。

集団生活・集団行動を学ぶ学び舎に必要なものとしても議論し、実現しなくてはなりません。

選択制ではダメ

給食は一斉給食でないと意味がないと思います。そして手厚い給食を実現し、子どもたちが愛されていると感じるくらいのもにしたい。堺市の農産物をもっと取り入れ、「地産地消」そして、地域教育へと発展させ、食べ残しの少ない給食としての教育に取り組み、子育て世代にしっかりと支持されるものとしての給食を実現させていきたいと思います。

サポートとしてではなく公に次世代を担う子ども達を我々大人世代、社会が愛しているんだと表現できる給食が今必要です。

JOURNAL VO.1 コラム

昨年、安倍総理が靖国に参拝され、メディアでは批判的に報じるどころが多く見受けられました。

中国や韓国を刺激するため、やめて欲しいという論調のものだった。しかし、日本は先進国で民主主義の国だ。これからファシズムになっていくことは不可能であろうと思う。

戦争があったことは不幸なことだ。それは間違いない。しかし、不幸にして起こった戦争だけれども、家族や地域、国を守るために命を落とした先人にはやはり祈りを捧げるべきだろう。そうでなければあまりにも情がなさすぎるのではないか。

戦犯というなら戦争に携った人、もっと言えば人類の罪でもあると言える。

不幸なことを二度と繰り返さないためにも、しっかりと国籍にとらわれず、命を落とした全ての先人に平和を誓う祈りを捧げるのは本当に大切なことで正確な理解さえされれば批判されるものではないと感じた。

まとは慎一事務所開設致しました



〒590-0103
大阪府堺市南区
深阪南342-12

TEL
072-230-1887

まとは慎一 オフィシャルホームページ開設
<http://www.ishin-matoba.com>



活動の報告

10月 議会へ初登庁	
10月	特別委員会にて子育て支援ひろば「ふらっとスペース金剛」さんへ視察
11月 堺・アセアンウィークの民間大使の方々と交流	
11月	市民人権委員会視察(福岡) 特別委員会視察(世田谷) 市議団視察(富山)
11月末	事務所開設
11~12月	本会議11月定例会

大阪維新の会広報掲示板の設置のご協力頂ける方を募集しています。事務所までご連絡お願いいたします。